

Lake Software リリース・ノート

この度は Lake 製品をお選びいただき、ありがとうございます。本書面は、本リリースの内容と現在確認されている問題についてご案内しております。追加された多数の新たな機能を利用するために、できるかぎり速やかに既存のソフトウェアを本リリースにアップデートすることをお勧めします。本リリースでは、確認されているいくつかの問題が修正されています。詳細は、後述「アップグレードの推奨対象」セクションをご参照ください。

ウェブサイト

最新情報および新しいリリースについては、下記サイトでご確認ください。

www.lakeprocessing.com

www.labgruppen.com/support/software_firmware/

Facebook でも情報をご覧になれます (@Lab.gruppen および @Lakeofficial)。

また、Twitter をフォローしていただければ、常に最新情報をお届けいたします (@labgruppenpower および @Lake_official)。

連絡先

テクニカル・サポートについては、下記 E メール・アドレスまでご連絡ください。

support@tcgroup-japan.com

操作の詳細については、製品に付属のマニュアルを参照してください。

リリース v6.3.1 : Installer 60 - 2015-03-16

概要

パッチ・リリース v6.3.1 は、バグ・フィクスと安定性を向上させる多くの変更点、そして Custom と Auto RPM モードのフル対応を含みます。

直近のメジャー・リリースである Lake Controller v6.3.0 は、PLM+ と D シリーズ・アンプリファイアーに対応しています。これらのシリーズは 4x アナログ / 4x AES インプットを搭載し、4x Contour モジュールによるプロセッシング能力の拡張がなされています。Dante I/O は Audinate の Brooklyn II モジュールを採用しており、Dante で 8x8 チャンネルをご使用いただけるようになりました。

重要

- 本バージョンの Lake Controller を使用するには、本リリースに含まれるファームウェア・アップデートを全てのハードウェアに対して行う必要があります。

アップグレードの推奨対象

- 本アップグレードは、全 Lake ユーザーに対して推奨されます。
- v6.3.1 は、新機能に加え、数多くの v6.3.0 の不具合の修正を含みます。
- PLM+ と D シリーズ・デバイスを使用するには、本バージョンが必要となります。PLM+ と PLM シリーズ・デバイスで構成される混合システムにおいては、旧 PLM シリーズを含む全デバイスをアップグレードする必要があります。

変更点

Installer 60 (v6.3.1)

- Auto RPM ™ と Custom RPM ™ のフル対応
- 改良版 LoadPilot ™ の対応
- 多くのバグ・フィクスと安定性向上の変更点。詳細は、「解決された問題」セクションをご参照ください。

Installer 57 (v6.3.0)

- PLM+ シリーズと D シリーズ・デバイスに対応しました。
- モジュールとシステム・ファイルが「マイドキュメント」及び「ドキュメントライブラリ」フォルダに保存されるようになりました。
- CLOCK CONFIGURATION が一新されました。クロック選択とヘルプ・スクリーンへのアクセスがより容易になりました。
- Windows のウィンドウ・モードで使用できるようになり、フルスクリーンに限定されなくなりました。
- ワークエリア / ホーム・スクリーンのモジュールにアンプ・チャンネルのミュートとルーティング先アウトプットが表示されるようになりました。
- UHD+ や 4K スクリーンで使用できるようになりました。
- PLM+ のフロントパネル・メニューが、アウトプット・ルーティング / メーター・ビュー / スクリーンセイバーに対応しました。

インストーラーに含まれるソフトウェアとファームウェア・コンポーネント

コンポーネント	バージョン	新規	備考
インストーラー	60	X	
Lake Controller	v6.3.1.11230	X	
Dシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	11142	X	
FPGA	80	X	
Amp	1.1.3, PSU	X	
Dante	1.0.187	X	
PLM+シリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	11142	X	
FPGA	80	X	
Front	4.2.3	X	
Amp	1.1.3, PSU	X	
Dante	1.0.187	X	
PLMシリーズ・ファームウェア (&OEM)	Bundle 00.04.50	X	
DSP	4.50	X	
FPGA	41	X	
Front	1.9.1	X	
Amp	0.14.5, PSU	X	
Dante	3.0.1.48	X	
LMシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.45	X	
DSP	2.45	X	
FPGA	1058	X	
Front	2.2.0	X	
Dante	3.0.1.48	X	
MY8-LAKEファームウェア	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	R6019	X	
FPGA	R6041	X	
Lake Firmware Updateユーティリティ	3.2.3.11228	X	
Preset Managerユーティリティ			
Preset Manager	2.0.5.0	X	
LM Series	1.0.99.0	X	
アナライザー・インテグレーション			
SMAART	1.2	X	
Live-Capture / AudioClient	1.2	X	
サードパーティー・アプリケーション			
CAFÉ	N/A	X	ウェブサイトにて供給予定
DAPI	3.1.8.5	X	Audinate 社より提供 (Windows 7 以降、旧 OS の場合は旧バージョンを使用)
Dante Discovery	1.1.1.1	X	
Dante Control & Monitoring	1.8.2.1	X	
Lake LoadLibrary™	3.5		別紙リリース・ノートを参照
ドキュメンテーション			
Lake Controller Operation Manual	1.5.3	X	ウェブサイトにて供給予定
D Series Operation Manual	N/A		
D Series Quick Start Guide	1.0.2		
PLM+ Series Operation Manual	N/A		ウェブサイトにて供給予定
PLM+ Series Quick Start Guide	N/A		ウェブサイトにて供給予定
PLM Series Operation Manual	1.3.5		
PLM Series Quick Start Guide	1.3.5		
LM Series Operation Manual	1.3.5		
LM Series Quick Start Guide	1.3.5		
MY8-LAKE Owner's Manual	1.0		
Lake Network Conf. Guide	1.1.4		

対応ファームウェア・バージョン

Lake Controller v6.3.1 は、D シリーズ Lake、PLM+ シリーズ、PLM シリーズ、LM シリーズ、及び MY8-LAKE デバイスをサポートします。Lake Controller v6.3.1 パッケージには、各デバイス上で必要とされるファームウェアが含まれ、付属の Lake Update ユーティリティを使ってファームウェア・アップデートを行えます。デバイス別に必要なファームウェアのバージョンは次の通りです。

- D シリーズ Lake : 2.44
- PLM+ : 2.44
- PLM シリーズ : 4.50
- LM シリーズ : 2.45
- MY8-LAKE : 2.44

本リリースに含まれるファームウェアは Lake Controller の旧バージョンには非対応で、以前の v6.x や v5.x の Lake Controller ではご使用いただけません。

Lake Controller v6.0 から、Dolby Lake Processor (DLP)、Lake Contour Pro 26、MESA Quad EQ デバイスは非対応となりました。これらのデバイスには、Lake Controller v5.x の最終バージョンをご使用ください。

DLM - Direct Lake Messaging (サードパーティー・プロトコル)

本リリースのファームウェア・バンドルは、DLM プロトコル v3.3 の機能性に対応しています。

インストール

本リリース・バージョンの Lake Controller をインストールする際は、以前のバージョンのソフトウェアは削除せず、新しいフォルダを作成してインストールしてください。

略語

[LC]	Lake Controller
[CAFÉ]	CAFÉ ソフトウェア
[D Series]	D シリーズ・ファームウェア・バンドル
[PLM+]	PLM+ シリーズ・ファームウェア・バンドル
[PLM]	PLM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[LM]	LM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[MY8]	MY8-Lake ファームウェア・バンドル
[Dante]	指定したデバイスの Dante 機能
[PM]	Preset Manager
[DLM]	サードパーティー・プロトコル・インターフェイス
[Updater]	Lake アップデート・ユーティリティ
[Installer]	インストーラー
[Doc]	マニュアル
[LL]	Lake LoadLibrary

変更点

Lake Controller

Installer 60 (v6.3.1)

- [PLM+, D Series] Auto RPM™ と Custom RPM™ モードのフル対応。RPM をブリッジ・モードで使用できるようになりました。
- 改良版 LoadPilot™ に対応。パイロット・トーン・インピーダンスのインピーダンス解析はより正確で、測定可能なインピーダンス・レンジの上限が拡張されました。詳細は、CAFE リリース・ノートをご参照ください。
- 数多くのバグ・フィクスならびに安定性向上の変更点。詳細は、「解決された問題」セクションをご参照ください。
- v6.3.0 からアップグレードした場合、既存インストールされている前バージョンからユーザー・ファイルが自動的にコピーされるようになりました。
- PEQ ページからデフォルト PEQ フィルターが削除されました。
- LP2way+1aux / CL2way+1aux / CL3way+1aux の全 AUX チャンネルにおいて、PostEQ チャンネルがインプット・ディレイを含むか否かを選択できるようになりました。
- Lake の一般リリースにおいて、OEM 製品がサポート対象となりました（ヴァーチャル・ファイル、アップデーター、プリセット・マネージャー）。

Installer 57 (v6.3.0)

- PLM+ シリーズと D シリーズ・デバイスに対応しました。
- モジュールとシステム・ファイルが「マイドキュメント」及び「ドキュメントライブラリ」フォルダに保存されるようになりました。LoadLibrary を含む全てのシステムならびにモジュール・ファイルがここに保存されます。フォルダは、Controller の初回起動時に作成されます。
- CLOCK CONFIGURATION が刷新され、クロック選択とヘルプ・スクリーンへのアクセスがより容易になりました。
- Windows のウィンドウ・モードで使用できるようになり、フルスクリーンに限定されなくなりました。USER PREFERENCES → GRAPHICS → DISPLAY MODE から設定できます。選択した設定は ic.ini ファイルに保存され、Lake Controller の起動時に適用されます。
- ワークエリア/ホーム・スクリーンのモジュールにアンプ・チャンネルのミュートとルーティング先アウトプットが表示されるようになりました。AMP CHANNEL MUTE がエンネーブルされている際に赤い線で表示されます。縦の位置はチャンネル毎に固定です。
- UHD+ や 4K スクリーンで使用できるようになりました。Lake Controller Beta 3 に含まれていた DPI スケーリングの機能は除かれました。Windows 8.1 は DPI スケーリングの必要性を自動的に判断します。この設定を無効化するには、プロパティ・メニューの Compatibility タブで「Disable display scaling on high DPI settings」を選択します。
- Lake Controller から、ハードウェア・アクセラレーションのオン/オフを設定するオプションが追加されました。Intel GPU を搭載した低スペックのラップトップやタブレット PC 等では、通常このオプションをオフにした方が良いパフォーマンスが得られます。デフォルトの設定はオンで、設定はセッション間で固定です。Graphics メニュー、またはマイドキュメント/ドキュメントライブラリ内 Lake Controller の Config サブフォルダ内にある「ic.ini」ファイルからアクセスできます。オンにするには「EMULATION=0」、オフにするには「EMULATION=1」に設定します。
- [LC, PLM] 「Load Not Verified」ワーニングが削除されました。PLM+ と D シリーズは、対象外です。フィンガープリントを含むプリセットにおいて LoadSmart™ 機能は引き続き今まで通り稼働し、また使用できますが、直近のパワー・サイクル以降負荷検証が行われていない状態においてもワーニングが発生しなくなりました。
- [PLM, PLM+, D Series] アンプリファイアー・アウトプットの名称が「POWER OUTPUTS」に変更されました。
- フレーム置き換えとバッチ置き換えの相互互換性は次の通りです。
 - 4 チャンネル PLM シリーズ・アンプを、相互に置き換え可能
 - 4 チャンネル PLM シリーズ・アンプを、PLM+ または D シリーズ・アンプに置き換え可能
 - PLM+ または D シリーズ・アンプを、同シリーズの別モデルに置き換え可能
- 全てのヴァーチャル・ファイルが、モジュール・スクロールバーの別のフォルダに整理されるようになりました。
- ISVPL と BEL 値が、ACTUAL（現実）/ DESIRED（理想）値として表示されるようになりました。
- ACTUAL 値として表示される数値は、製品モデルの性能と DESIRED 値の設定の兼ね合いによって異なります。コンフィギュレーションを別モデルに移動した際に、理想値は変更されません。
- CONTROL タブの ISVPL が、パワー・チャンネル（PWR OUTPUT）当たりの ACTUAL 値に拡張されました。
- [PLM+, D Series] EVENTS & CONTROL / CONTROL タブで ACTUAL 値の後に RPM のステータスが表示されるようになりました。

- ALL タブ・メニュー・バーから GLOBAL EVENTS & CONTROL に直接アクセスできるようになりました。GLOBAL INFO ボタンは削除されました。
- [PLM+、D Series] EVENTS & CONTROL STATUS タブから LoadPilot のステータスを確認できるようになりました。
- RECALL AS SUB-SYSTEM は、リコールするサブシステムと同一名称のページがすでに存在するかどうかをチェックするようになりました。ページをマージするか、名称に通し番号 (1、2、...) を追加した上で新規ページを作成するかを選択できます。

PLM フロントパネル

Installer 60 (v6.3.1)

- 全インプット・ミュートがアクティブの状態でも、フレームの障害とワーニングがフロントパネルに表示されるようになりました。
- フロントパネルのスクリーンセーバーのタイムアウト時間が 30 分に変更されました。表示オン/オフの頻度を落とします。

Installer 57 (v6.3.0)

- ディスプレイ寿命を延長するフロントパネルのスクリーンセーバーが追加されました。
- PLM+ シリーズ同様、デュアル・リダundant の表示 (「=」) が行われるようになりました。

Lake Update ユーティリティ

Installer 57 (v6.3.0)

- フレーム単位で、アップデートの終了及び正常な完了の表示が行われるようになりました。
- [PLM+、D Series] DANTE REFRESH ボタンが追加されました。全 PLM+ / D シリーズ・フレームの Dante ステータスをポークします。Dante Controller の RELOAD と同様に機能します。
- PLM+ または D シリーズ・デバイスのファームウェア・アップデートを行うには、Dante Discovery と ConMon の Dante サービスをコンピューター上にインストールされていることが条件となります。
- SAFE モードで同時にアップデートできるデバイスの上限数は 5 です。

Preset Manager

Installer 60 (v6.3.1)

- Preset Manager を使ってデバイス間でフレーム・プリセットまたはバンク・ファイルを転送する際に、EXCLUDE LABELS がデフォルトで設定されるようになりました。

Installer 57 (v6.3.0)

- PLM+ と D シリーズの全 5 モデルのプリセット・フォーマット (バンク) が共通化され、バンク・ファイルの扱いとフレーム・プリセットの配布がよりシンプルになりました。
- PLM+ と D シリーズのファイル・フォーマットが最適化され、PLM / LM シリーズ・デバイスと比べてフレーム・プリセットの配布が格段に効率よく行えるようになりました。

インストーラー

Installer 57 (v6.3.0)

- インストーラーが一新され、より標準的な操作手順となりました。

MY8-LAKE

Installer 60 (v6.3.1)

- DHCP IP コンフィギュレーション・オプションに対応しました。

解決された問題

Installer 60 (v6.3.1)

キー	コンポーネント	内容
5690	Groups	MODULE INPUT MUTE 使用時に GROUP INPUT MUTE がディスエーブルされる
5717	Dante, LC	LC をワイアレス NIC で使用すると Dante エラー・メッセージが表示される
5601	Dante, PLM+, PLM, LM	PLM と PLM+ の混合セットアップ使用時に、アナログ入力を使用している Lake デバイスから Dante を受信すると、入力感度が一貫せずインプット・ゲインが一致しないことがある
5892	D Series Lake, PLM+	C/D の FIRModule を使用時にパワー・サイクルを行うとフレームがブートしないことがある
5619, 5614, 5613, 5661	EQ/Levels, LC, PLM FW	256 を超える EQ セグメントの追加が許容されるループホールにより、上限を超えたセグメントを作成した際にフィルターがコラプトされる不具合を修正
5722, 4454	LC	バイパスされたグループ/オーバーレイを使用するとモジュール・オーバーレイがバイパスされることがある
5699, 5698	UDIC / UDIP	稀に、USE DATA ON PROCESSOR がフレームのパラメーターを変更し、USE DATA IN COMPUTER が OOS 状況を解決しないことがある
5830	Audio response, I/O Config	MY8-LAKE / PLM+ / D シリーズ:4+2 コンフィギュレーションにおけるアウトプット・ルーティングの誤り
5591	Module Menu, FIRModule	Greybox ファイル / FIRModule リコール時にインプット・ミキサーがデフォルトにリセットされる
4485, 5660	LC, Synchronization	USE DATA ON PROCESSOR オペレーションで全デバイスの FastSync が失敗することがある
5542,	LC, Synchronization	RECALL LAST SYSTEM CONFIGURATION 時に全デバイスの FastSync が失敗することがある
5592	LC, Synchronization	SYSTEM PRESET RECALL 時に全デバイスの FastSync が失敗することがある
5835	Faults & Warnings	PLM+ / D シリーズ : PAL アクティブ時に PAL ワーニングが表示されないことがある
5796	LC, Window Mode LC	インプット・ミキサーの +4dBu ボタンが反応しない
5770	Faults & Warnings	モジュールが OOS の場合旧ファームウェアが検知されない
5744	D Series Lake, PLM+	フラッシュメモリでバッドブロックが生じているとパワーサイクル時に設定が正しくリストアされない
5736	Crashes	FIRMaker プラグインのロード時に LC がクラッシュする
5711	D Series Lake, Dante, PLM+ Operations	PLM+ / D シリーズ : ZeroConf に設定時、Dante Module が IP リクエストを行い、DHCP の IP アドレスを受け付ける
5709	Clocking, I/O Config	SOFT RESET が正しく AES アウトプット・クロックの設定をリセットしない
5694	Clair G request, Module Menu	ミッド・チャンネルが未使用の 3way モジュールが v6.3 で 2+1 モジュールと認識される
5676	Analyzer Integration , Crashes	plugin.conf ファイルで指定されたアナライザがネットワーク上で検出されないと LC がクラッシュする
5671	Analyzer Integration	SEARCH FOR ANALYZER を押すと LC がクラッシュすることがある
5665	D Series Lake, PLM+ Operations	FACTORY RESET 後、Lake と Dante Module が異なる Dante の IP アドレスを表示することがある
5650	PLM+ Series front	フロントパネルで DUAL REDUNDANCY の設定を変更した際に、状態が正しく表示されない
5843	Crashes, D Series Lake, PLM+ Operations	ネットワーク・ループが PLM+ / D シリーズの自己パワー・サイクルを引き起こすことがある
2140	LC	複数の Controller とヴァーチャル/オフライン・フレームを使用している時にグループのミュート・ステートが一致しない
5762	LC, EQ/Levels	モジュール C&D の LEVEL LIMITS におけるアンプ出力電圧演算の誤り
5703	LC, Window Mode LC	直近の解像度が使用不可の場合にウィンドウ・モードのエラー、LC は可能な最大解像度を使用すべき
5884	Groups	異なるアウトプット・チャンネル数のモジュールをアサイン時に GROUP DATA LEVELS が正しくリセットされない

Installer 58 (v6.3.0)

キー	コンポーネント	内容
5646	PLM+, D Series	49 日の連続稼働でデバイスが反応しなくなることがある

Installer 57 (v6.3.0)

キー	コンポーネント	内容
4995	LC	複数のアナライザ使用時に SEARCH FOR ANALYZER が失敗することがある
4866	LC	モジュールの GROUP GANG で DSP チャンネル 4 ~ 6 をギャングできない
5307	LC	高解像度ディスプレイ (Surface Pro 3 等) を使用すると、Lake Controller の起動時にエラーが発生する
5292	LC	SYSTEM ファイルのリコールに失敗すると、エラーメッセージが表示されずワークエリアが空白で表示される
5032	LC	インプット・ルーター・ミュートがワークエリアのモジュール・アイコンでは Mod.Out. Mute と表示される
4857	LC	ワークエリア上にオフラインまたはヴァーチャル・デバイスが存在すると、セカンダリ Controller の GSI (Global Status Indicator) / TRAFFIC ライトが障害を表示する
4843	LC	MULTIPLE (複数) Controller モードでモジュール・オーバーレイの EQ フィルターを削除すると、他方の Controller が正しくアップデートされない
4885	LM Firmware	LM がマスターでクロックを INTERNAL に設定していると、パワーサイクル後に LM が Dante のクロック・スリップを報告する
	LC	ファームウェア側で、従来の LC で許容されていた長いオーバーレイ・ラベル名が 18 キャラクターに省略される。LC のオーバーレイ・ラベルの上限も 18 キャラクターに制限
	Various	細かい修正、全体の安定性の向上

実装されていない機能

[LC] MY8-LAKE の SIMPLIFIED ROUTING オプション

[LC] MY8-LAKE の EVENT ログ

既知の問題

Lake Controller とファームウェアの既知の問題

キー	コンポーネント	内容
4604	Analyzer Integration	Live-Capture Optimizer がモジュールのグループ・フィルターをコラプトすることがある
	LC, Dante, PLM, LM	Lake Controller から DANTE DEVICE NAME を変更するとデバイスが数秒オフラインになった後にオンラインに復帰することがある
578	LC	モジュール B に Classic 3-way をロードすると、ロー・チャンネルのクロスオーバー・ページでチャンネル名がローの代わりにハイと表示される
1492	LC	コピー／ペーストで LoadSmart のケーブル・データが正しくコピーされない
5887	LC, Multiple Controllers	複数 Controllers 時、PEQ グループ・オーバーレイの GEQ オーバーレイへの変換がディスプレイされる。暫定処置：単体 Controller で PEQ グループ・オーバーレイを変換する
5888	LC, Multiple Controllers	セカンダリ Controller から GEQ グループ・オーバーレイのフラット化が行えない。暫定処置：単体 Controller で GEQ グループ・オーバーレイをフラット化する
1386	LC, Multiple Controllers	複数 Controller で 2-aux モジュール・ファイルを使用時に、プライマリとセカンダリ Controller 間で EQ AUX タブの変更が正しく同期しない。暫定処置：3-aux モジュールを使用するか、プライマリ Controller からフィルターを追加する
1431	LC, Multiple Controllers	セカンダリ Controller からプライマリ側への接続が失われた状況においてもセカンダリ側から EVENTS と CONTROL のポップアップ値がエディットできるが、この値はフレームに到達せず、プライマリへの接続が復帰した時点においてセカンダリの変更内容が失われる
523, 667, 668, 657, 724	LC, Multiple Controllers	複数のセカンダリ Controller を使用すると通信エラーが発生する。セカンダリ Controller にマイナーなセキュリティー面での問題がある
830,1665	LC, Supermodules	スーパーモジュールにおいて、モジュールが部分的にスタンバイまたはオフライン状態にあることがワークエリア上に正しく表示されない。暫定処置：ALL ページで全フレームがオンライン状態にあることを再確認する
1230	LC, Supermodules	A と B モジュールの 2-way を組み合わせるとスーパーモジュールに問題が発生することがある

FAQ & テクニカルノート

Lake Controller v6 が起動時にクラッシュする、または動作が極端に遅くなる

Lake Controller v6 は v5.x に比べて多くのビデオメモリを消費します。Intel Atom 等の低スペックの PC においては、内蔵グラフィックス・ハードウェア・アクセラレータで正常に動作しないことがあります。Lake Controller にはハードウェア・アクセラレーションのオン/オフを選択するオプションが用意されており、低スペックのラップトップやタブレット PC ではオフで使用することを推奨します。設定はセッション間で固定で、デフォルトの設定はオンです。Graphics メニュー、またはマイドキュメント/ドキュメントライブラリ内 Lake Controller の Config サブフォルダ内にある「iC.ini」ファイルからアクセスできます。オンにするには「EMULATION=0」、オフにするには「EMULATION=1」に設定します。

Windows 7 - Dante チャンネルにサブスクライブしようとするエラーメッセージが発生する

Windows 7 上で、LakeController の INPUT CONFIGURATION ビューから Dante チャンネルにサブスクライブしようとした時にエラー・メッセージが表示される場合は、IP アドレスが固定 IP であることと、169.254.X.Y サブネットが使用されていることをご確認ください。

Dante は EEE (Energy Efficient Ethernet) に非準拠です

Dante ネットワーク上では Ethernet スイッチの EEE* 機能を使用しないでください。

Ethernet スイッチの EEE を有効にしている場合、EEE 機能が Dante のリアルタイム・クロック同期通信に干渉し、音声ドロップアウトやノイズが発生することがあるのを確認しております。EEE 機能は下記の通り扱ってください。

1. Managed スイッチの EEE 機能は「無効」にしてください。有効/無効の切り替えはアプリケーション・ソフトウェアで行えます。
2. Unmanaged スイッチには、EEE 機能をサポートする Ethernet スイッチを使用しないでください。

*EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能は、ネットワーク・トラフィックが低い時に消費電力を抑えるテクノロジーです。

Dante Controller が Lake デバイスのステータスを表示しないことがある

大規模なシステム上では、Dante Controller で一つ（または複数）のオンライン・デバイスのルーティング/デバイス・ステータス/クロック・ステータスが正しく表示されず、NETWORK ビューから RELOAD DEVICE INFORMATION をクリックしても状況が改善しないことがあります。

暫定処置として、デバイスをダブルクリックして DEVICE ビューに移動してから RELOAD DEVICE INFORMATION を選択することで問題を解決できます。

メモ